

東日本大震災と私

作成者 M.Y

1.地震当日の体験 2.三ヶ月後 3.今,私にできること

・ 地震当日 2011.3.11 の私の体験

3月11日、その日は金曜日だった。私たちは授業が始まる時間だというのに騒がしく会話をしていた。

その時、私たちは揺れを感じた。非日常的な事態に対しても、私たちは冷静に対応した。ある生徒はドアを開け、ある生徒は机の下に隠れる。しばらく机の中で待機した後、わたしたちは家に帰宅させられる。

もちろん、電気は止まっていた。しかし、幸いながら水は出るようだ。

我が家では発電機を使い、電気やラジオ、暖房の使用ができるようにした。

そのとき放送していたラジオでは、「ライフラインがほとんど断ち切られた中、余震が続き、怖い」など、

被災した地方のリスナーはたくさん声を寄せていた。

同じ東北の人たちが苦しんでいる中、電気や水が使える我が家はとても幸せだと感じた。

そして、何度も何度も余震が続く中、夜が更けていった。

・ 地震後3ヶ月間のわたしの動き

結局、電気が普及したのは地震次の日の夜だった。

電気が再び通ってからテレビの電源をつけると、画面には津波の悲惨な被害が映し出されていた。

どのテレビ局も同じような津波の映像を何度も何度も、映していたのだった。

数日後、予定されていた部活動や演奏会など、様々な物事が中止になった。その分、わたしたちはボランティアに努める。

例えば、節電や募金。同じ東北に住んでいる者として、精一杯尽くしてきた。

・ 今私にできること

わたしにできることは、そう多くはない。しかし、小さな努力を重ね、それが大きな力となるように協力していきたい。

特に、今まで続けてきた募金と節電を継続し、呼びかけていきたい。

・ 東日本大震災について

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E6%97%A5%E6%9C%AC%E5%A4%A7%E9%9C%87%E7%81%BD>

要約文

The day was Friday, March 11. A large earthquake occurred at resting time.

The class was discontinued. And, we returned to the home.

The earthquakes (aftershocks) occurred many times at night.

We saved electricity and cooperated to fund-raising-campaigns.

It cooperated for the person in Tohoku.

There are not a lot of things that I can do.

However, I want to cooperate so that a small effort may become big power.

Especially, I want to continue fund-raising and power saving.